

政策公約の推進状況を報告します(2)

11月号に引き続き、50項目の政策公約(マニフェスト)の推進状況を、中間報告としてお知らせします。

※◎は21年度までに達成する項目

※()内は20年度の決算額

※「」内は21年度の予算額

◎27 尾張一宮駅前ビルの再開発

公共公益施設を盛り込んだ市の建て替え案を基に、20年度に基本設計を行いました(3532万円)。21年度に実施設計を行い、J R東海と協議を進めます「1億867万3千円」。

◎28 J R木曽川駅周辺整備

20年度までに東西駅前広場・自由通路・橋上駅舎・東西駐輪場を整備し、事業は完了しました(8億1212万8千円)。

◎29 iーバスの運行拡大・生活交通バスの運行

iーバスは19年度から4コースで運行しています「6322万1千円」。さらに大和・萩原と千秋で生活交通バスを運行しています「2089万9千円」。

◎30 木曽川河川敷公園の整備

木曽川河川敷のうち、尾西地区の6・4kmを木曽川尾西緑地としました。木曽川の豊かな自然環境を生かし、自然と身近にふれあえる河川敷公園を整備します。20年度までに遊歩道・自転車道・駐車場などを整備しました(1億3296万2千円)。今後

◎31 新一宮尾西線/名鉄尾西線の高架化/名高速16号の北進/新濃尾大橋

新一宮尾西線の整備を進めています。20年

度に三条で用地を取得しました(2億7235万1千円)。21年度も用地取得を進め、一部工事を行います「5億1393万6千円」。

菊安賀での西尾張中央道の渋滞を解消するため、名鉄尾西線の高架事業の早期着手を県などに要望しています。21年度は、県が高架橋計画について検討を進めています。

名古屋高速16号一宮線を北に延ばすため、調査区間を整備区間指定へと移行し早期に事業化されるよう、今後も要望を続けます。

濃尾大橋の渋滞の解消と、岐阜県西南濃地域との交流促進のため、新濃尾大橋の建設を県に要望しています。県道一宮津島線より西に、橋を取り付けるための道路工事と用地取得を、県が進めています。

◎32 市役所一宮庁舎の建て替えを検討

20年度に新庁舎建設検討委員会を設置して庁舎の配置・建設計画の検討を行いました。基本計画(案)について市民意見提出制度で意見を募集したところ、101件の意見をいただきました。また、基金に2億円を積み立てました(2億1231万4千円)。21年度は委員会の答申を受け、基本計画などを策定しました。引き続き実施設計に着手します「9299万1千円」。

◎33 学校教育の充実

保護者や地域の皆様の意見を的確に反映し、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めています。

20年度に丹陽中学校でコミュニティー・スクール(学校運営協議会)を設置し、小学校6校・中学校5校で設置準備を行いました(185万6千円)。21年度は小学校3校

・中学校3校に設置し、小学校10校・中学校7校で設置準備を進めています「358万4千円」。

英会話指導員を13人派遣し、全小学3・6年生を対象に英語活動科を行っています(4908万円)。21年度も同数を派遣しています「4907万2千円」。

全市立小中学校の図書館に司書を派遣しました(2625万円)。21年度も継続しています「1995万円」。

特別支援協力員を派遣し、発達障害のある児童生徒の補助を行っています。20年度に協力員を増員し、43人となりました(5500万9千円)。21年度は50人に増員しました「6639万6千円」。

◎34 総合体育館の建設

尾張西部の中核都市としてふさわしい規模と機能をもつ総合体育館を光明寺公園に建設しています。実施設計を策定し20年度に着工しました(3億4107万9千円)。22年度中の完成を目指し、工事を進めています「29億3388万7千円」。

◎35 (仮称)木曽川文化会館の建設

市民の皆様が薫り高い芸術に触れ、文化創造にかかわる施設として、音楽ホールを建設します。20年度に地権者の皆様へ説明会を開催しました(25万4千円)。21年度にも地権者の皆様へ説明会を開催し、最終意思を確認しましたが、全員の同意が得られなかつたため、候補地を再検討します。

◎36 市立公民館の建て替え

19年度に今伊勢公民館が完成しました。20年度に北方公民館の設計を行い(866万3千円)、21年度に着工しました「2億2

900万円」。

③7 小中学校校舎の耐震化

市立小中学校の校舎・屋内運動場の耐震補強を計画的に進めています。20年度に耐震補強を校舎40棟、改築を校舎1棟・屋内運動場1棟行いました（18億2464万8千円）。21年度は校舎54棟の耐震補強、屋内運動場1棟の改築を行っています「19億2058万円」。

③8 小中学校教室に扇風機を設置

20年度に市立小中学校の全普通教室に設置を完了しました（9922万5千円）。21年度は小学校41校・中学校19校の音楽室に設置しました「3380万円」。

③9 住民参加による第6次総合計画の策定

20年度から10年間の行財政運営の指針である第6次一宮市総合計画を策定しました。成果測定のために指標を設定して、5年後・10年後の目標値を明らかにしています。20年度は公募市民による総合計画推進市民会議で計画の進み具合の評価や推進のための事業の提案を受けました。21年度以降も評価・提案を受けていきます。

④0 自治基本条例の制定

まちづくりの基本的な理念・原則・役割分担・仕組みなどを明文化します。20年度に「自治基本条例（仮称）」を考える会から、条例の基本的な考え方の提言を受けました（365万8千円）。21年度は提言書を基に、（仮称）自治基本条例素案検討委員会が素案を策定し、答申します「202万6千円」。

④1 新しいコミュニティづくり

地域の特色を生かした元気なコミュニティ

イー活動ができるよう、新しい地域自治の仕組みづくりに取り組んでいます。20年度に西成連区で地域づくり協議会が発足しました（627万7千円）。21年度にはさらに2つの連区で地域づくり協議会設立の準備が進んでいます「637万5千円」。

④2 市民税の1%を市民活動の財源に

20年度に条例を制定し、70団体から申請を受け、市民の皆様から3万1578票の投票がありました（607万8千円）。21年度は投票結果と事業実績に応じた支援金を交付します「2766万4千円」。

④3 行政評価の推進

第6次一宮市総合計画に盛り込まれた施策を対象に、総合的な評価ができる仕組みを導入します。20年度、新たに施策評価（有効性評価）を試行しました（191万1千円）。21年度は本格運用し、有効な事業の企画立案、既存事業の改善に努めます。

④4 電子入札の導入

20年度に、公共工事は電子入札の本格運用を、物品購入は電子入札・公開見積もり競争の試行運用を開始しました（1106万2千円）。21年度は物品購入も電子入札を本格運用しました。公開見積もり競争は今後運用を拡大します「1128万9千円」。

④5 職員適正化計画の実行

柔軟で創造的な組織体制・人員配置となるよう、定員管理の適正化に努めています。21年4月1日現在の地方公営企業等職員を除いた職員数は2286人で、16年4月に比べて241人の減となりました。22年4月には、2279人とする予定です。

④6 中核市指定の検討

プロジェクトチームを設置し、事務経費・人件費などの調査・検討を行ったところ、移行時期を延期することとしました。今後も財政上の影響を調査します。

④7 出張所機能の見直し

情報通信技術が進歩する中、出張所事務の多くが電算化されています。20年度にプロジェクトチームを設置し、出張所の窓口のあり方などについて検討しました。21年度は行政改革推進委員の意見を求め、方向性を検討します。

④8 予算編成方法の見直し

一般会計当初予算の編成にあたり、一部を各部に枠として配分し、それぞれの責任で部内の各課に再配分する方式を導入しました。20年度は方式の一部見直しました。今後も行政運営能力の発揮や自主的な歳入確保の努力を促し、効率化を図ります。

④9 行政改革大綱の推進

市民の目線に立ち、行政のスリム化、行政サービスの質の向上を目指し、17年度に策定した行政改革大綱に基づき、歳入・歳出を見直しています。17～21年度の効果額は193億円が見込まれます。今後も計画の達成に向け、行政改革を進めます。

⑤0 事業所税の導入

都市環境の整備・改善をする目的税として、22年度に事業所税を導入します。21年度に各団体・事業者の説明会を開催し、システム構築準備・アンケートなどを行います「215万4千円」。